



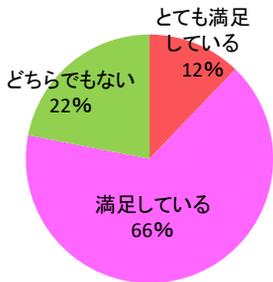
連携パスだより～がん地域連携パス編～ NO. 8

霜寒の候、先生を初めスタッフの方々におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

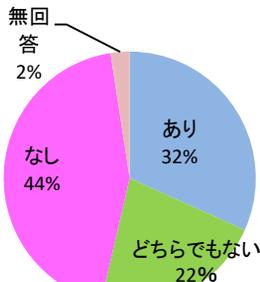
今回の「連携パスだより」は、去年の7月に先生をはじめ多数の職種の方にご協力いただきました「乳がん地域連携パス」のアンケート結果の報告をさせていただきます。アンケートは、73.5%の高い回収率で、みなさま方の関心の高さが伺えました。回答者全員が「パスを有用」と答えてくださり、がんパス運用についての励ましの言葉もいただきました。同時に患者さんへのアンケートも実施しております。諸先生方の御丁寧な診察に安心しているなどの声も多数いただいております。すべてをお伝えできないのが残念ですが、以下に主な質問項目の結果を報告します。

連携医療機関の回答

パスの仕組みの満足

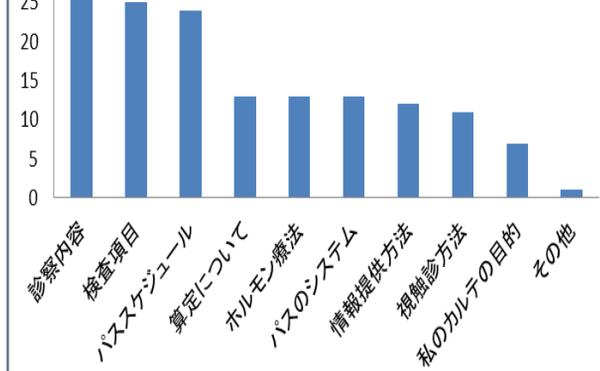


診療の困難感



パスで分からないことはいつでも対応いたします。
パスコーディネーターより

施設のパスの運用について必要な情報は何か (複数回答可)

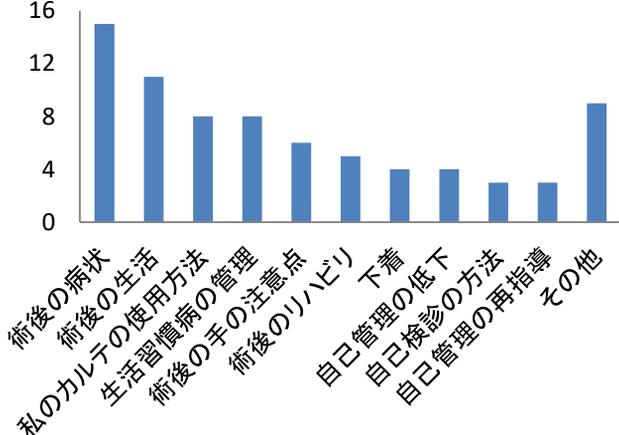


今後の支援の参考とさせていただきます。

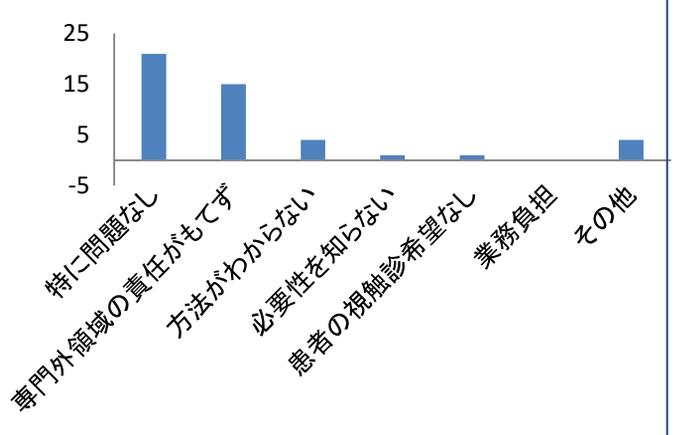
たくさんの相談をうけていただきありがとうございます。

乳房視触診の勉強会を検討していきたいと思います。

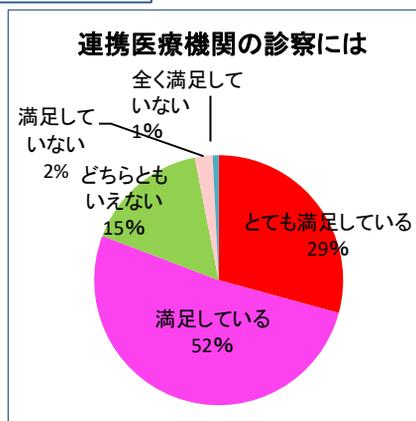
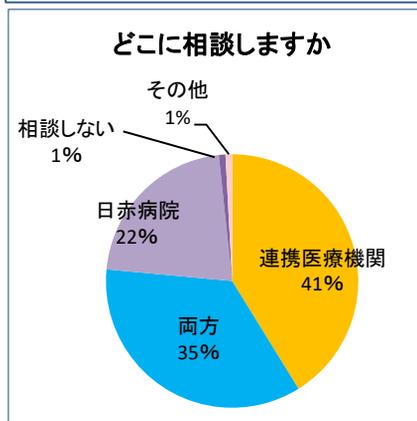
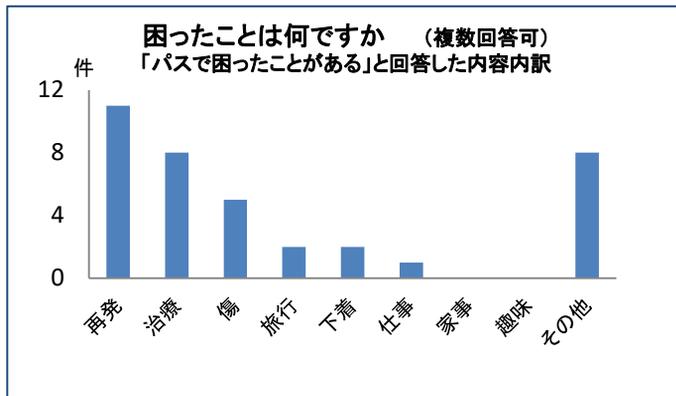
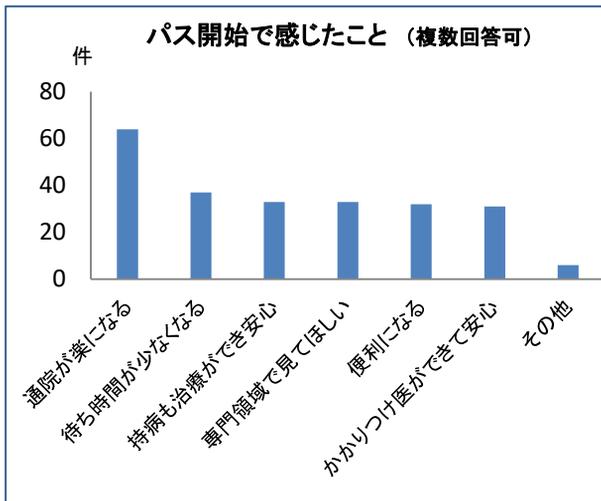
患者からの相談内容 (複数回答可)



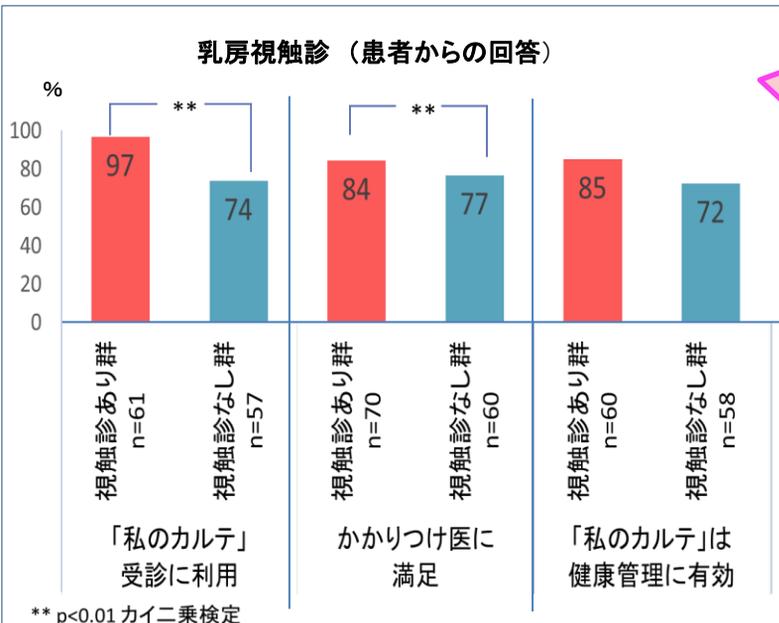
施設 乳がん術後視触診について (複数回答可)



患者さんからの回答



乳がん術後の患者さんは多くの悩みを連携医療機関に相談し、安心して生活ができていられる様子が伺えます。



このグラフは、
赤が「乳房視触診あり」
青が「乳房視触診なし」を示しています。
乳房視触診ありは、「『私のカルテ』を受診に利用している」「かかりつけ医に満足」の項目で満足が高い結果でした。

乳房の視触診は患者さんの安心につながっています。

日本乳癌学会中国四国地方会で発表してきました。

連携医療機関のみなさまの御協力のおかげでパスの利用が増えています。アンケートから、諸先生方と患者さんの信頼関係の上でパスが継続できていることを再確認しました。これからも病診連携をよろしくお願い申し上げます。

来年2月16日 木曜日 19時から松江赤十字病院で
乳がんパス勉強会を予定しています。
詳細は後日お知らせいたします。ご参加をお待ちしています。

連絡先:松江赤十字病院
地域医療連携課
TEL:0852-32-7813
FAX:0852-27-9261